

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三洋テクニカルセンター建設計画	階数	地上4F
建設地	埼玉県川口市	構造	S造
用途地域	工業区域、法22条区域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年7月28日
敷地面積	1,446㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社東京3
建築面積	755㎡	確認日	2020年7月28日
延床面積	2,766㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社東京3



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 78% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	緑地を多く設け、LED照明や節水型器具を採用することで、環境への負荷低減に配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	床・天井に吸音材を使用 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 自然換気有効開口面積が室面積の1/15以上	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数50%以上
LR1 エネルギー	BPI=0.69 BEI=0.70	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=78%
Q2 サービス性能	一人当たりの執務スペースが12㎡以上 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用	
LR2 資源・マテリアル	節水型水栓に加え、節水型便器を採用 LGS+GB-R、フリーアクセスフロアを採用 断熱材はノンフロンを採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
三洋テクニカルセンター建設計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境					0.32		-		3.2
1 音環境				3.2	0.15		-		3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音		床・天井に吸音材を使用		4.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.9	0.25		-		2.9
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				2.0	0.30		-		
1 昼光制御				2.0	1.00		-		
3.3 照度		事務室:照度500lx以上		4.0	0.15		-		
3.4 照明制御		人感センサーにより自動照明制御ができる		5.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.9	0.25		-		3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.6	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が室面積の1/15以上		5.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		3.1
1 機能性				3.1	0.40		-		3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40		-		
1 広さ・収納性		一人当たりの執務スペースが12㎡以上		5.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30		-		
1 広さ感・景観				3.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上		4.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30		-		3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.9	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		GL鋼板35年		5.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:タイルカーペット20年、壁:ビニルクロス20年、天井:岩綿吸音板30		4.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.1	0.30		-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30		-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率<0.3	4.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38		-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.69	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.70	4.0	0.50		-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価				-		-	-	
4.1 モニタリング				-		-	-	
4.2 運用管理体制				-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水		節水型水栓に加え、節水型便器を採用	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン	3.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS+GB-R、フリーアクセスフロアを採用	5.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	-	
1 消火剤				-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		断熱材はノンフロンを採用	5.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率78%	3.8	0.33		-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制				-		-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策チェックリスト、広告照明の扱いの項目の過半を満たす	5.0	0.70		-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	三洋テクニカルセンター建設計画	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	3.0	=	6.8	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
LCCO2排出率78%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<ul style="list-style-type: none"> ・外構緑化指数50%以上 ・空地率40%以上、植栽や庇の設置を行っている ・屋上緑化を行っている 			

: 入力欄